



、役立てていたきたいという気持ちが強く、要するに不安がついているだけで何にもならない占いというよりも不安になる前に知るといえるか、情報としてそれを使い、一つの選択枝として役立ててもらいたいという発想なんです。たとえば、山道でも、あそこはガケ崩れがおきやすいとか、もつと近道があるとか（もつとも近道が必ずしもいいとは限りませんが）、そうした事が前もってわかっていたらスムーズに登れるし、省エネにもなりましますね。

生年月日や生命判断などからデータが出たとします。たとえば言うならば、松、竹、梅の中で自分が竹と出たとします。竹は松になれないし梅ともちがいます。竹は竹としてご自分を見事に育てれば良いのです。松ならば見事な枝ぶりの松になれば良いのです。

**そのような情報としての占いはどのように利用されていますか。**

企業における人事配置、人の採用等ですね。社長自ら、自分のやることをじやまさないような形態にしたい、又、反対に自分をセーブしてくれる様な人的配置にするにはなにと具体的な相談もあります。

ただ、マイナスをプラスにする為の相談でなく、プラスを今以上にプラスにしたいという、いわば



コンサルタントの先生に相談するのと同様の感覚で役立ててもらっています。

ここ16年前から占い師への支払いもコンサルタント料の名目で経費控除できるようにもなってきました。

成功する人の側には、表立っては出てきませんが、こういう占い師がいるのです。

**名古屋ばかりでなく東京からもたくさん仕事が舞い込んでくることですが、大変ですね。**

東京での仕事は講演が多いんです。

でもどんなに忙しくても遊びの時間はしっかりとついています。この仕事を始めた時も、土・日・祝日は休み、平日は午後一時から六時までと営業時間をきめ、お客様にあわせていただきました。

メジャーになりたいとか、お金をもうけたいとか思っていますからより自由のびのびと、必要な時に必要意見がいえ、あまり有名にならないで生きて行けたらなと思っています。

**ビジネスの中心はやはり東京、生活の時を移そうとは考えませんか。**

全然ありません。東京は住む所ではないですね。ゆつたりのんびりした名古屋にいながら東京でのビジネスを考えてもいいと思います。

「フライデー」にも創刊号からずっと原稿を送っているのですがほとんど、電話とFAXですみま

す。どうしても行かなければならないのは、講演の時だけで、その時も必ず友達とあつたりして仕事と遊びをセットにします。

名古屋もデザイン博のおかげで、街並みもほんの少しですが、きれいになったし変わったといつてくれる人も増えました。

**我々、JCマンも名古屋の活性化の一助とらんと活動に仕事に励んでいるのですが、最後に一言アドバイスをお願いできませんか。**

JCの方はほとんど後継者の方で、親の七光とか別にそうじゃなくてもそんな云われ方をされますね。それに会社でもまともにならなつてあたりまえてつぶれてもしたら散々な云われ方をされてしまい、ずい分かわいそうだなって思います。

でも一般の方より、いいスタートをきっているのは事実ですからいたづらに創業者みたいにガツガツやるのではなく大変むずかしい事とは思いますが、まわりを気にしないでどう見られているかなんて一切考えなくていいと思います。そうすれば、自分が本当は何をしなければならぬのかおのずとわかり、自分が確立され楽しい明日が見えてくるのではないでしょう。

仕事に遊びにお忙しい中、時間をオーバーしても、ころよくインタビューを受けていただきました。そのメリハリのきいた感覚で時代の情報発信者として頑張ってください。

